

家庭部活動記録

10月16日(水)

第69回青森県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会が、青森県総合社会教育センターで行われました。

ホームプロジェクトの部では、本校1年生が「名も無き家事 ～家族を救え!分担大作戦～」という研究発表題で発表し、優秀賞を受賞しました。

学校家庭クラブ活動の部では、夏休み中に本校で郷土料理を教えてくださった青森県立三本木農業恵拓高等学校の方が、郷土料理の魅力を広める活動について発表していました。この発表を聞き、私たちも学校や地域のためになるような活動を始めていきたいと思いました。

1年部員



名もなき家事

～家族を救え!分担大作戦～

青森県立八戸東高等学校

1年



発表要旨

普段、何気なくやってもらっている家事の中には、明確な名前が無かったり、あまり気にしていなかったりと、関心を持っていないものが多くありました。

そのような「名も無き家事」にフォーカスして、特定の家族に負担が偏っている現実を可視化し、その是正のためにどのような工夫をしたらよか考え、実践しました。みなさんの家庭でも少なからず話題になることだと思います。

10月4日(金)

ゆりの木の花ホール食堂のれん制作

頼まれていたのれんができました。2、3年生からデザインを募集し、複数の案を組み合わせ「八東らしさ」を重視してデザインを決めました。食堂に飾るものなので生地の色にもこだわりました。1～3年生の部員でそれぞれ分担して作業を進め、予定よりも長い時間がかかりましたが、何とか食堂の方に引き渡すことができました。食堂のみなさんも喜んでくださり、安心感と達成感でいっぱいでした。部員全員で制作することはなかなかないので、とてもよい経験になりました。これからも、学校生活がよりよくなるよう活動を続けて行けたらと思います。

2年部長



部長から食堂の方にのれん
を手渡しています。

藤色ののれんには、八東
のシンボルである「ゆりの
木の葉」や梅の花などが
デザインされています。



家庭部活動記録

7月12日(金)、13日(土)

八東祭

家庭部は、ワークショップを企画しました。

ビーズストラップ作りとコピー用紙の包み紙を利用したバッグへのデコレーションです。

また、毎年好評の校地内にある草花を使用した生け花も展示しました。

多くの方がワークショップに参加してくださり、素敵なストラップやバッグを制作されていました。ご来場いただいた方々、本当にありがとうございました。



コピー用紙の包み紙で家庭部員がバッグを製作し、来場いただいた方に、思い思いにデコレーションしてもらったり、取っ手をつけてもらったりしました。



調理教室にある食器に生けた、生け花です。

7月26日(金)

三農恵拓家庭クラブ主催

地元伝承料理普及のための交流会 ハ戸東高校調理教室にて

三農恵拓家庭クラブのみなさんが考えた「南部版けの汁」を教えてくださいました。

他校の家庭クラブ員と交流する貴重な機会となりました。



三農恵拓家庭クラブ
のみなさんから説明
を受けています。

ごぼう、人参、キャベツ、
長いも、油揚げ、ふき、
わらび、こんにゃく、豆
腐、干し椎茸、とても具
だくさんです。



三農恵拓家庭クラブ
のみなさんとなごやか
な試食の時間です。

家庭部活動記録

5月25日(土)

ちょうじゃこども食堂で提供する、青森県産りんごのコンポートを使ったアップルパイを作りました。

子供食堂開催場所の調理室には、オーブンが一台しかなく時間内で調理することが難しいため、八戸東高校家庭部がちょうじゃこども食堂から依頼を受けて作りました。事前にりんごのコンポートやパイシートなどの材料を持ってきていただき、本校調理室で120個のアップルパイに仕上げました。こども食堂での提供は、5月26日に行われました。当日は、本校のインターアクト愛好会のみなさんが提供しました。

アップルパイの生地は時間との勝負で、時間が経つと柔らかくなり過ぎてしまうので、できるだけスピードを上げて作業をしました。また、上の生地と下の生地で大きさが異なり包むのに一番苦勞しました。子供達に提供するため、均等に美しく作ることを心がけました。



このアップルパイを
作りました。

6月5日(水)

青森県総合社会教育センターで青森県高等学校家庭クラブ連盟総会・指導者養成講座が青森県総合社会教育センターで行われました。総会では、議事について議決をし、指導者養成講座では、全国指導者養成講座に参加してきた青森県立弘前実業高校家庭クラブ員の生徒と教諭の深堀 香先生が、「手話を通した多様性理解を目指して～全国指導者養成講座に参加して～」という講座を開いてくれました。グループに分かれてファイルに入れてあった指文字表を見ながら1人ずつ自己紹介をしていきました。最後に全体で、「世界に一つだけの花」の曲を手話で歌いました。聴覚障がいを持っていても楽しめる歌がもっと増えていいなと思いました。今回の講座を通して、聴覚障がいの理解を深めることができました。

